

官民連携まちづくりワークショップ（後半）

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

2026/2/13

strictly confidential

【閲覧制限A】提出企業様のみ



官民連携まちづくりの推進及び情報発信を目的として、
会場内での記録写真・動画撮影、並びに参加者へのインタビューを行う可能性があります。

それらの内容は、春日部市が発信する広報媒体（市報、ホームページ、SNS等）にて、
紹介させていただく場合があります。

官民連携まちづくりの基本方針づくりに向けて、皆さまから率直なご意見をいただくこと

1.現状:生活者のニーズ・課題に対して“春日部の強みとポテンシャル”を活かしたまちづくりとは?

2.未来:未来ビジョン要素に対して「良いところ」「足りないところ」「追加したい要素」は?

3.未来:未来ビジョン要素の「まちが自然と良くなっていくサイクル」を踏まえて、春日部駅周辺で実現したい具体的なシーンは?

インプット(20分)

ワークショップ内容・事前アンケート結果共有・基本方針(案)の共有(20分)

セッション(60分)

意見交換の座談会(テーマに沿った対話・意見収集)

現状:強み・課題・ニーズ(20分)

未来:未来ビジョン要素(40分)

プロセス(20分)

- ・休憩・要約作業(10分)⇒まとめ(10分)

アウトプット(15分)

- ・参加者1分プレゼン(15分)

ネクスト(5分)

- ・キックオフに向けて(5分)

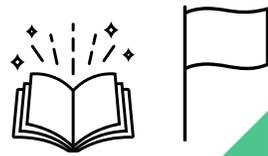
まちに関わる多様な人たちが**どんな未来を創りたいか**共に考え
持続可能なまちづくりに向けて、事実とデータに基づき合理的にアクションを計画して実行していくためのプロセス

本日:WS前半

基本方針の
要素抽出/論点整理

26年1月:WS後半

基本方針策定



令和8年度



未来ビジョン策定/
社会実験の検討

(マーケティング調査分析・部会の
取り組み内容検討など)

令和9~10年度



社会実験の実践/検
証/改善
⇒持続可能なまちづ
くりの検討

ワークショップの成果：高い満足度と交流の価値



- ☑ 異業種や異なる立場の人との交流、課題の共有がポジティブに評価されました。

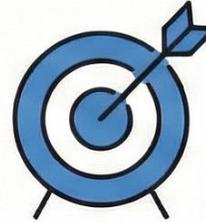
異業種交流によるネットワーク形成



普段接点のないプレイヤー同士で、春日部を良くしたいという共通の想いを確認。

「自分の課題認識が他者と共通であることを確認できた」

今後の改善：議論の深化とアクションへの移行



ゴールの明確化とビジョンの共有
ワークショップの目的を事前に明示し、目指すべき将来像の土台を固めます。



議論を深める手法と時間の拡大
ポストイット等のツール活用や、グループ構成の最適化（テーマ別等）を検討。



社会実験を見据えた具体策の提案
単なる議論に留まらず、フィールドワーク等の具体的なアクションへ繋がります。



- ・少人数の「車座形式」（円形で座る対話スタイル）でしっかり意見収集
- ・CCCがモデレーター（進行役）となり、全員が発言しやすい雰囲気づくり
- ・生成AIを活用して、その場で意見を整理・可視化

主な目的

- ・現場の声を直接聴くこと、チームの親睦を深めること、創造的なアイデアを出すことなどに有効

フラットな対話

- ・上座・下座の区別をなくし、心理的な壁を取り払う

双方向のコミュニケーション

- ・一方的な説明ではなく、参加者全員が発言し、本音で議論することを重視

事例

- ・日本の首相や大臣が各地で国民の声を直接聴く「車座対話」、企業のチームビルディングや地域コミュニティの合意形成の場

春日部市の実現したいことと生活者の声（まちづくりアンケート）をインプットし、
春日部駅周辺におけるコンセプト案（未来像）を収集

“春日部駅周辺の現状と未来”について議論

基本方針に反映

来年度、定期的なエリプメンバー会議を開催し、
マーケティング・社会実験などの検討をしながら未来ビジョンを策定

1. 活動名称
2. エリアプラットフォームの機能・役割
3. 基本理念・目的(なぜやるか)
4. 基本方針の柱(未来ビジョン要素)
5. 春日部駅周辺の現状(駅周辺の強み・課題・ニーズ・理想像、アンケート結果など)
6. エリアプラットフォーム体制
7. 運営方針

ワークショップのテーマ

今年度は活動の基盤となる基本的な運営方針をまとめます

⇒来年度はマーケティングや社会実験検討を進めながら、基本方針をブラッシュアップして未来ビジョン策定へ

春日部駅周辺の未来像(事前アンケート結果)

	コンセプト案	解説
1	家族の未来を育てる町!!春日部	安心安全を掲げる市長の通り、家族が住みやすい町にするには、官民が一丸となり未来を築き育てていくというイメージ
2	ちょっと立ち止まりたくなる、まち	「ちょっと立ち止まりたくなる、まち」は、生活者アンケートで多く見られた居心地の良さ、安全・清潔、回遊性、日常の中での人や文化との関わりといった価値を、一つの方向性としてまとめた言葉です。春日部の駅前やまちなかは、これまで通過する場所として利用されることが多く、用事がなければ立ち寄らない空間になりがちでした。本コンセプトでは、そうした場所を目的がなくても立ち寄り、少し休み、人や出来事と出会える日常の延長としての場へと転換していくことを目指しています。
3	招きたくなる街 まちと暮らしが交わる余白	余白＝心や生活の余裕やゆとり、街が整っていることの比喩としてイメージにぴったりな言葉だと思った。余白(余裕・ゆとり)がないと”誰かを招きたくなる気持ち”を持つことが難しいと思うので、街として【春日部に招きたくなる】暮らしとして【充実感や幸福感のある自分らしい暮らしが叶う】コンセプトが軸にあると良いと感じた
4	日常にちょうどいい駅前	アンケート調査内容を拝見して集約すると、「再開発で“すごいもの”はいらない。日常的に使えて、ちょっと居たくなって、誰かに話したくなる駅前にしてほしい。」と考えていると捉えました。市民生活に【ちょうどいい】駅周辺のまちづくりをすることを目指し、このコンセプト案にしました。
5	行きたい・したいが見つかるまち	駅周辺ということを考え、訪れた方の欲しいものややりたいことができる、新しく見つけられる街を目指したいという考えから。
6	TERRACE PARK LIFE(テラス・パーク・ライフ)	駅前全体を「大きなテラス」と見立て、家(プライベート)と外(パブリック)の中間のような心地よさを提供します。
7	笑顔が自然とあふれるまち	そこに集う人々が、無意識のうちに笑顔になる居場所をイメージしました
8	日常が楽しくなる春日部	生活者のニーズは、ショッピングだけでなく「緑・イベント・文化・居心地」といった情緒価値が重視されています。特別な観光地ではなく、普段の生活の中楽しさや発見がある街を目指します。
9	ゆるやかにつながり、響き合う暮らし	駅の東西、色々な人どうし(居住地域、年代など)、街と自然、日常と非日常、今までの歴史と今・これからは、それぞれを尊重しつつゆるやかなつながりを持って豊かになっていければよいなと思いました。
10	ちょうど良い毎日からちょっと良いを描く	春日部という暮らしにちょうど良い環境や条件に気付いて、知ってもらって、楽しんでもらって、もうちょっと先の良い未来をみんなで考える。そんなイメージをしてみました。
11	誰もが自分らしく幸せを育めるまちへ	様々なプレイヤーがより良くしたいと言う思いをカタチにするチャレンジができる、活力溢れたまちを理想とする
12	明るいまち	明るいイメージが賑わいや活気につながると思いますので選びました
13	人がつながる未来都市	春日部らしい“人の温かさ”と“未来志向のまちづくり”を同時に表現した
14	関わりが価値になる、人主役のまち	かつて宿場町で人の賑わいがあった春日部が現在では鉄道及び道路同士の交点になっているにも関わらず、ただ通過するまちとなってしまう。春日部駅周辺に暮らす人、訪れる人に回遊や滞在ができる場を提供することで自分らしく過ごすことができる人主役のまちをつくりたいという想いを込めた。
15	春日部に帰ろう	①寝に帰る街でなく、早く帰りたくなるような魅力ある駅・街を目指したい、②高度経済成長期以降に春日部駅周辺は周辺エリアの中心地であり、そのころのにぎわいに戻る(帰れる)ことを目指す。
16	ずっと好きなまち、かすかべ	ずっと春日部を好きでいてもらえるような街づくりをしたい
17	ボクたちの街かすかべ	アンケートを見て確かにと思う部分もあれば、ちゃんと理解されていないと感じる部分もあります。まずは春日部の魅力をしっかり伝える事が大切であり、他人事ではなく自分事として捉えてもらえるような工夫が必要だと感じます。
18	みんなが立ち寄りたくなる街	アンケート結果から、電車の乗り換えや通勤で使用している人が多く、また、市民が求めているものがあまりないと感じている人が多いなと思いましたので、市民が求めているものを実現することで、そこに行こう言う人が増えるだろうということで、「みんなが立ち寄りたくなる街」としました。
19	みんなの笑顔が生まれる街	リラックス・学び・遊び・生活 全般において自然に楽しめる街にしたい
20	人や店や自然に触れ、何度も回遊したくなる街	まだ春日部を知らない地方や近隣に住む方に来て、見て、知って何度も訪れたくなる街をイメージ
21	自慢したくなるまち、春日部	当協会が運営している「ぶらっとかすかべ」には、多くの訪日観光客が訪れ、春日部の滞在を楽しんでいます。地元の方々のご意見には、「春日部には何もなく、せっかく来たのにかわいそうね」などのご意見をよく耳にすることから、地元の方々が春日部の良さに気付き、自慢できるようになってほしいとの願いをこめて。
22	いつもの日々が価値になる春日部	春日部らしさは非日常ではなく、誰かの「いつもの日々」が積み重なってできているところにあると感じたからです。
23	まちにあかりを灯す	まちにあかり(賑わい)を。人の心にあかりを。それぞれのあかりを灯して、広がるまちづくり。あかりであれば境界があわいになり、グラデーションが生まれ、それぞれが独立した上で手を繋いでいく関係性を構築していける。
24	ただ通る駅前から、つい立ち寄る駅前へ	通勤・通学の通過点だった駅前を、用事がなくても寄りたくなる場所に変えていくまちづくり
25	暮らす。つながる。	暮らすのは、特段楽しいことがなくとも、便利や安全などが優先される気がします。それも軽んじることなく整備が必要です。そんな暮らしに彩りをつけるのは、学校、子育て、地域、お店、などの外部との繋がりで、そこが豊かになるほど誰かに伝えたいほどの愛着がわくかなと。ただ、むやみに繋がりがりや広がりを推すのではなく、プライベートや内向的な部分も包容して、どちらも認められ、どちらも選択肢として選べるように情報が発信、受信される関係がベストです。
26	1人1人が参加できる街	他市と比較し、各団体よりイベントが頻繁に創出されており、全体がまとまることで市民の参画が一層促進されると思うから

コンセプト案を集約して5つの領域にカテゴライズし“つながり”を設計

① 日常の心地よさ

- 日常にちょうどいい駅前
- 日常が楽しくなる春日部
- いつもの日々が価値になる春日部
- ちょうど良い毎日からちょっと良いを描く

② 立ち寄り・滞在

- ちょっと立ち止まりたくなる、まち
- ただ通る駅前から、つい立ち寄る駅前へ
- 行きたい・したいが見つかるまち
- 人や店や自然に触れ、何度も回遊したくなる街

③ コミュニティ

- ゆるやかにつながり、響き合う暮らし
- 関わりが価値になる、人主役のまち
- 人がつながる未来都市
- 1人1人が参加できる街

④ 愛着・誇り

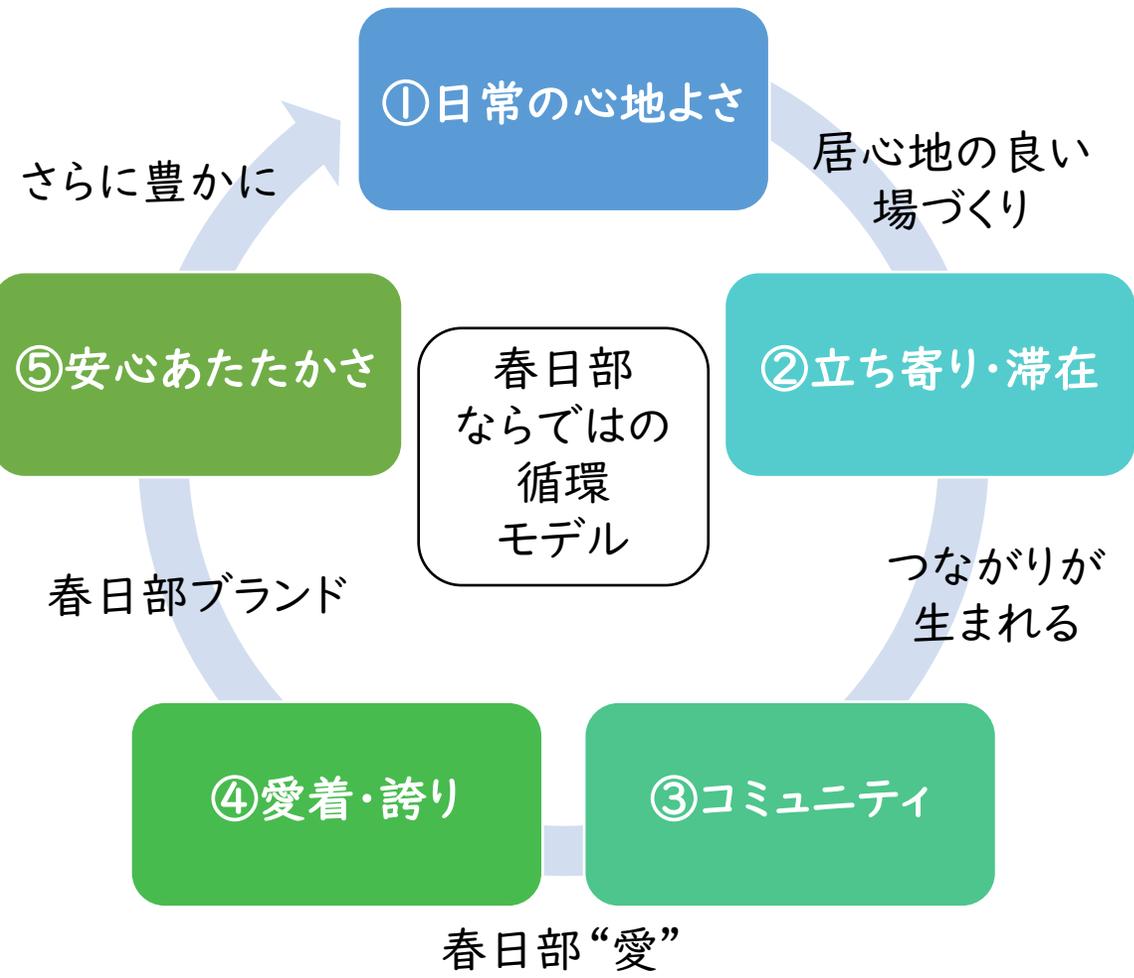
- 春日部に帰ろう
- ずっと好きなまち、かすかべ
- 自慢したくなるまち、春日部
- ボクたちの街かすかべ

⑤ 安心・あたたかさ

- 家族の未来を育てる町
- 明るいまち
- みんなの笑顔が生まれる街
- まちにあかりを灯す

コンセプト案から一部抜粋

まちが自然と良くなっていくサイクル



循環ステップ	まちづくり要素構成			
	暮らし (日常の質)	場 (滞在・居心地)	つながり (関係性・参加)	まち (都市像・ブランド)
① 日常の心地よさがある (循環の起点)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常が“ちょうど良い” ・家族が安心して過ごせる ・毎日に小さな癒しや楽しさがある 	—	—	—
② 立ち寄り・滞在が生まれる	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や用事のついでに少し寄れる ・日常の動線に“寄り道の余白”が生まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・用事がなくても寄れる場所 ・緑・余白・あかりのある居心地の良さ ・テラスのように休める場 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・通過だけだった駅前が滞在の起点となる
③ コミュニティ(つながり・関係性)が育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中で自然に人や活動との接点生まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなイベントや活動で人が軽く交わる場 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代がゆるく交わる ・自己表現・チャレンジができる ・関わりが価値になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人や活動の重なりが“まちの魅力”の基盤になる
④ 愛着・誇りが高まる	<ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしやすい」「好き」と実感できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・戻ってきたくなくなる場が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・関わるほど“自分ごと”になり誇りが育つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春日部っていいよね」と言える ・帰りたくなる／自慢したくなる街 ・“通過”から“選ばれる”都市へ
⑤ 安心・あたたかさが広がる (①に循環して①を底上げ)	<ul style="list-style-type: none"> ・街の空気感が安心 ・夜も歩ける／見守りがある ・暮らしの満足度が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して滞在できる明るい場が広がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係性が街の“心理的セーフティネット”になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感のある街のブランドが形成される → ① 日常の心地よさへ循環

春日部駅周辺エリアプラットフォーム基本方針案(仮)

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

strictly confidential

【閲覧制限A】提出企業様のみ



官民連携まちづくりの基本方針づくりに向けて、皆さまから率直なご意見をいただくこと

1.現状:生活者のニーズ・課題に対して“春日部の強みとポテンシャル”を活かしたまちづくりとは?

2.未来:未来ビジョン要素に対して「良いところ」「足りないところ」「追加したい要素」は?

3.未来:未来ビジョン要素の「まちが自然と良くなっていくサイクル」を踏まえて、春日部駅周辺で実現したい具体的なシーンは?



- 1.他者を批判しない（他者の意見を受け取る）
- 2.自分の意見を大切に、積極的に発言する
- 3.未来志向で“育てる”姿勢を持つ



キーワードは「共創」

まちに関わる多様な人たちと共に、未来への材料を持ち寄り
他者の視点と重ねて持続可能なまちづくりの可能性を広げる

強み・課題・ニーズの深掘り (20分)

生活者のニーズ・課題に対して

“春日部の強みとポテンシャル”を活かしたまちづくりとは？

ポテンシャルとは？
「眠っている価値・魅力やチャンス」



今は活用しきれないが工夫すればもっと良くなる部分や、住む人・使う人の力とアイデア次第で伸びていく可能性がある部分

場所のポテンシャル例

- 駅前にあるのに使われていない空間、視点を変えれば活用できる広場や通り

人のポテンシャル例

- 地域で活動したい若い世代、専門性を活かしたい市民、協力したい企業・学校

つながりのポテンシャル例

- 商店・学生・子育て世代・企業が協力して新しいことができる余地

未来のポテンシャル例

- 高架化後の駅前の新しい動線、イベントや新産業の可能性、にぎわいの創出余地

現状

1. 駅前には「滞留する場所ではなく通過する場所」
2. 東西の分断、回遊性が低い駅周辺の繋がりがバラバラ
3. 空き店舗増加、老朽化
4. 夜は閑散として治安不安案内できる場所が少ない
5. 情報共有の仕組み不足、活動が見えにくい

強み

1. 都心アクセス良好（鉄道・道路ネットワーク）
2. 古利根川など自然資源、広い歩道
3. クレヨンしんちゃんという強力なIP
4. 首都圏外郭放水路など観光資源
5. 商店街や団体のつながり、地域プレイヤーの存在
6. 土地にゆとりがあり開発余地あり
7. 市民人口約23万人という規模

課題

1. 駅前に「何もない」印象、滞在・消費機能不足
2. 東西の一体感が弱い、回遊性不足
3. 情報発信・共有の仕組みが弱い
4. 若い世代の参加が少ない
5. 官民・地域プレイヤー間の連携不足
6. 保守的な風土、忖度構造
7. 観光資源の活用不足、案内力の弱さ
8. 会議が形骸化するリスク

ポテンシャル

1. 多世代・多文化交流の居場所づくり
2. 情報共有プラットフォーム（デジタル＋リアル）
3. フラットな関係性、主体性を尊重する協働文化
4. アーバンファームなど農と都市の中間ポジション
5. クレヨンしんちゃん・外郭放水路を核にした観光強化
6. 鉄道高架化・再開発による空間更新
7. 芸術・文化活動のアクセシビリティ向上
8. フィールドワーク型ワークショップで関係構築

【参考】地域住民の春日部駅周辺に対するニーズ

「行きたくなる」と思う要素

居心地の良さ・緑自然・エンタメなどの情緒的要素も

特に実現してほしいもの

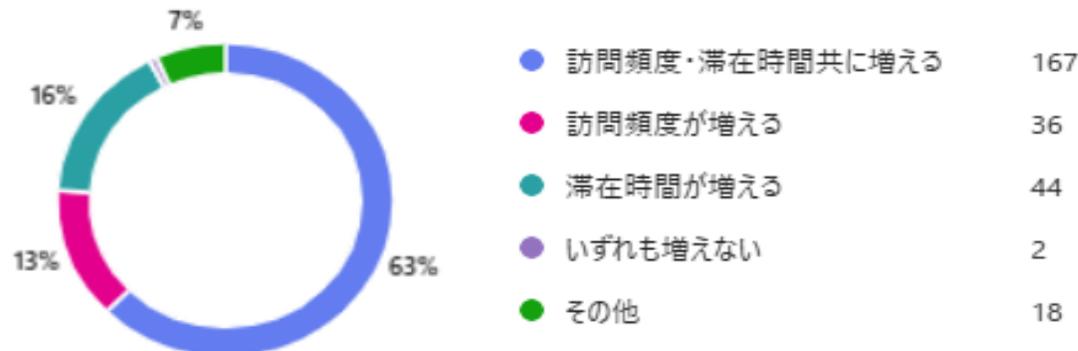
ショッピング施設が最も多いがTOP6までは左結果と同じ

no	項目	件数	件数
1	ショッピング施設	68.2%	182
2	居心地の良い休憩場所	53.9%	144
3	緑や自然を感じる空間	47.9%	128
4	飲食イベント・マルシェ	47.2%	126
5	音楽・アート・映画を楽しめる場所	45.7%	122
6	仕事・勉強・学びができるスペース	39.0%	104
7	イベントや交流の場	37.1%	99
8	子育て・ファミリー向け施設	34.8%	93
9	観光拠点	33.7%	90
10	防災・安全に関する機能	28.5%	76
11	健康・スポーツ施設	25.1%	67
12	その他	24.0%	64
13	自己表現やチャレンジができる	16.1%	43
14	新しい友達や仲間と出会える	13.9%	37
15	動物とふれあえる	12.7%	34
			267

no	選択肢	構成比	件数
1	ショッピング施設	35.96%	96
2	子育て・ファミリー向け施設	8.61%	23
3	緑や自然を感じる空間	7.87%	21
4	居心地の良い休憩場所	5.99%	16
5	仕事・勉強・学びができるスペース	5.62%	15
6	音楽・アート・映画を楽しめる場所	4.49%	12
7	飲食イベント・マルシェ	4.12%	11
8	イベントや交流の場	3.00%	8
9	観光拠点	2.62%	7

実現による行動変容

訪問頻度・滞在時間が確実に増えると6割が回答



【情緒的価値とは?】買い物などの機能的価値ではない「心地よさ・癒やし・ワクワク・文化体験・人とのつながり」など

春日部駅周辺で残念なこと

情緒的な楽しいことが少ない

no	項目	構成比	件数
1	遊ぶ場所が少ない	64.5%	1044
2	買い物したいお店がない	42.0%	679
3	夜や休日に楽しめる場所がない	33.0%	534
4	ごはんを食べるところが少ない	28.6%	463
5	居心地の良い場所がない	23.3%	377
6	勉強できる場所がない	22.1%	357
7	清潔感が感じられない	19.5%	315
8	特になし	18.9%	306
9	治安が心配	17.1%	276
10	新しい気づきや学びがない	15.9%	258
11	道がわかりにくい	9.3%	151
12	歩きづらい	7.2%	117
13	その他	3.8%	62

【情緒的価値とは?】買い物などの機能的価値ではない
「心地よさ・癒やし・ワクワク・文化体験・人とのつながり」など

「もっとこうなったらいいな」と思うアイデア

楽しい・学び・癒やし

①「友達と遊べる・交流できる」**滞在型**の駅前

→ レジャー施設・スポーツ・テーマパーク・ゲーム対戦など

②「勉強・休憩・雑談」できる**生活拠点**としての駅前

→ 自習室、カフェ、休憩ベンチ、屋内フリースペース

③「**自然・動物・癒し**」要素の強化

→ 緑の公園、小動物カフェ、自然を楽しむ場所

Q.あなたが春日部駅周辺で最も改善してほしいことは何ですか？

解釈しやすいように回答内容を4象限で整理⇒どの領域に注力していくかの参考指標

- ・駐車場・駐輪場の使いやすさ
- ・歩行環境・道路安全
- ・マナー・環境・トイレなど



比較的着手しやすい
(短期～中期)

生活インフラ関連



- ・鉄道・高架化・踏切
- ・東西アクセス(徒歩・車)
- ・広域交通・ネットワーク

構造的・中長期のテーマ
(高架化・再開発・鉄道等)

- ・日常の商業・飲食・遊び場
- ・子ども・家族の場
- ・イベント・サードプレイス



- ・再開発/タワマン
- ・人口減少イメージ
- ・都市デザイン・景観
- ・春日部らしさ
- ・観光・文化資源の活用

体験・魅力・ブランド

未来ビジョン要素 (40分)

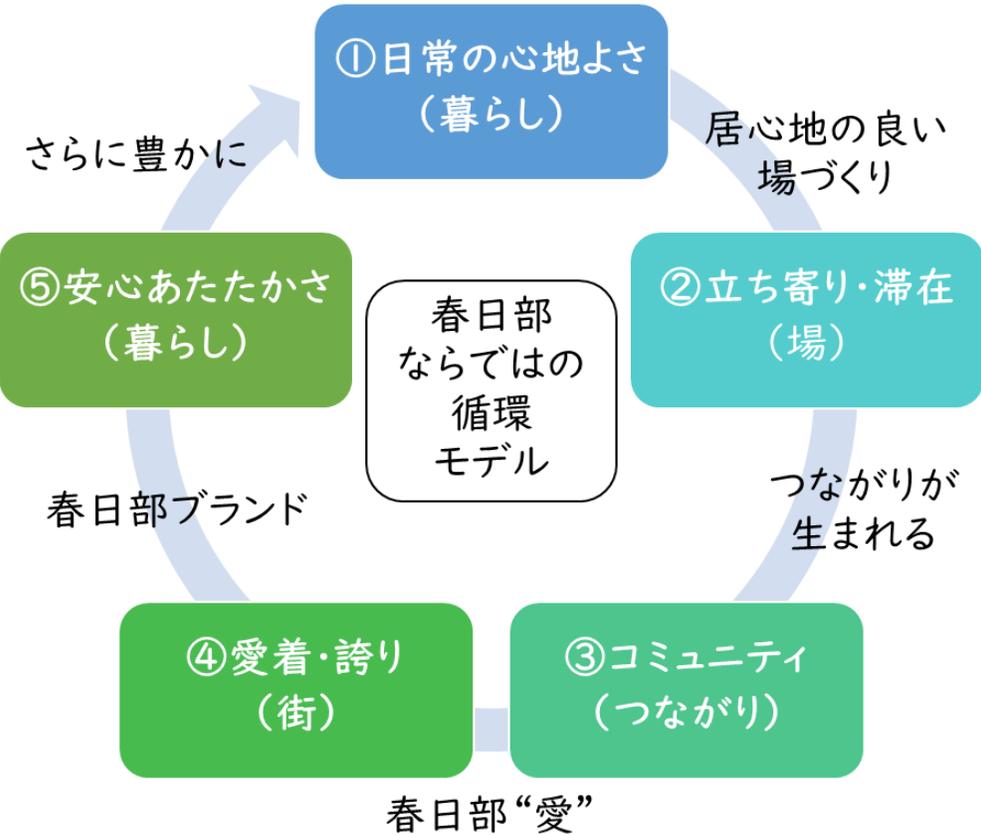
良いところ

足りないところ

追加したい要素

具体的なシーン

街が自然と良くなっていくサイクル



循環ステップ	まちづくり要素構成			
	暮らし (日常の質)	場 (滞在・居心地)	つながり (関係性・参加)	街 (都市像・ブランド)
① 日常の心地よさ (循環の起点)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常が“ちょうど良い” ・家族が安心して過ごせる ・毎日に小さな癒しや楽しさがある 	—	—	—
② 立ち寄り・滞在が生まれる	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や用事のついでに少し寄れる ・日常の動線に“寄り道の余白”が生まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・用事がなくても寄れる場所 ・緑・余白・あかりのある居心地の良さ ・テラスのように休める場 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・通過だけだった駅前が滞在の起点となる
③ つながり・関係性が育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中で自然に人や活動との接点が生まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなイベントや活動で人が軽く交わる場 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代がゆるく交わる ・自己表現・チャレンジができる ・関わりが価値になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人や活動の重なりが“まちの魅力”の基盤になる
④ 愛着・誇りが高まる	<ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしやすい」「好き」と実感できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・戻ってきたくなる場が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・関わるほど“自分ごと”になり誇りが育つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春日部っていいよね」と言える ・帰りたくなる／自慢したくなる街 ・“通過”から“選ばれる”都市へ
⑤ 安心・あたたかさが広がる (①に循環して①を底上げ)	<ul style="list-style-type: none"> ・街の空気感が安心 ・夜も歩ける／見守りがある ・暮らしの満足度が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して滞在できる明るい場が広がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係性が街の“心理的セーフティネット”になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感のある街のブランドが形成される → ①日常の心地よさへ循環

インプット(20分)

ワークショップ内容・事前アンケート結果共有・基本方針(案)の共有(20分)

セッション(60分)

意見交換の座談会(テーマに沿った対話・意見収集)

現状:強み・課題・ニーズ(20分)

未来:未来ビジョン要素(40分)

プロセス(20分)

- ・休憩・要約作業(10分)⇒まとめ(10分)

アウトプット(15分)

- ・参加者1分プレゼン(15分)

ネクスト(5分)

- ・キックオフに向けて(5分)

2月中旬 WS事後アンケート

基本方針案(仮)へのご意見
意見交換会参加可否
キックオフスピーチ希望など

3月上旬 基本方針案の共有

3月上旬 基本方針アンケート

基本方針案へのご意見など
※基本方針案についてのご意見は
キックオフ時の補足説明や来年度の未来ビ
ジョン策定に活用します

3月17日 キックオフイベント

1. 現状

2. 未来像

3. 今回得られた気づき・こんな活動していきたいという想い・メッセージ